

種雄牛造成強化事業 超優秀雌牛導入支援対策補助金交付要綱

制 定 令和2年5月1日付け農畜第176号
最終改正 令和4年10月1日付け農畜第1165号

(趣旨)

第1 全国的に高い評価が得られるスーパー種雄牛を早期に造成するため、種雄牛の母牛としての超優秀繁殖雌牛の全国からの計画的な導入を推進し、その事業を実施するのに要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。その交付については、補助金等交付規則（昭和32年島根県規則第32号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、この要綱に定めるところによる。

(事業実施主体、補助率等)

第2 事業実施主体は、別記実施基準のとおりとし、補助金の補助率は、事業実施主体が、繁殖雌牛の購入に要する購入費及び導入経費（市場手数料、運搬経費等）の1/2 以内（1頭当たり1,800千円を上限）および和牛受精卵の購入費の1/2 以内（1個当たり100千円を上限）とする。

(補助金の交付申請)

第3 事業実施主体が、規則第4条の規定により補助金の交付を受けようとするときには、交付申請書（様式第1号）および別記実施基準の取り扱いに定められた実施計画書（別記様式第1号）を知事に提出しなければならない。

(変更交付申請)

第4 事業実施主体が、規則第9条第1項に規定された、次の各号に掲げるいずれかの重要な変更を行おうとするときには、変更承認申請書（様式第2号）及び別記実施基準の取り扱いに定められた変更実施計画書（別記様式第2号）を知事に提出し、承認を受けなければならない。

- (1) 補助事業の実施主体の変更
- (2) 補助事業の中止又は廃止
- (3) 事業実施主体の事業種目の補助金を増額する場合又は20パーセントを超えて減額する場合
- (4) 事業内容の主要な部分に関する変更
- (5) その他知事が必要と認める場合

(概算払請求書)

第5 事業実施主体が概算払により補助金の交付を受けようとするときは、様式第3号による請求書を知事に提出しなければならない。

(完了報告)

第6 事業実施主体は、事業が完了したときは完了報告書(様式第4号)により完了報告を行い、速やかに検査を受けなければならない。

(実績報告)

第7 事業実施主体が規則第10条の規定により提出する実績報告書は、実績報告書(様式第5号)および別記実施基準によるものとし、提出の時期は、補助事業が完了した日から起算して30日を経過した日又は補助金の交付決定を受けた日の属する年度の末日いずれか早い日とする。

(書類の提出)

第8 この要綱の規定により知事に提出する書類は、本要綱の規定によるほか、別記実施基準の取り扱いにより提出するものとする。

(帳簿等の保存)

第9 補助事業を実施するに当たっては、当該補助事業に係る収入及び支出を明らかにした帳簿並びに証拠書類を備え、補助金交付の決定を受けた年度の翌年度から5年間保管しなければならない。

(その他)

第10 この補助金を交付する事業を実施するにあたりその他必要な事項は、別に定める。

附 則 この要綱は、令和2年5月1日から施行する。

附 則 この要綱は、令和4年10月1日から施行する。

様式第 1 号

番 号
年 月 日

島 根 県 知 事 様

住所
事業実施主体の名称
代表者の役職および氏名 印

令和○年度種雄牛造成強化事業超優秀雌牛導入支援対策補助金交付申請書

令和○年度において、下記のとおり事業を実施したいので、種雄牛造成強化事業超優秀雌牛導入支援対策補助金交付要綱第 3 の規定により、補助金○○○円の交付を申請します。

記

- 1 経費の配分 別紙のとおり

- 2 事業の概要 別記実施基準「実施計画書」のとおり

(注) 1 記の記載様式は、様式第 1 号に準ずるものとする。

なお、軽微な変更があった場合においては、容易に比較できるよう変更部分を 2 段書とし、変更前を括弧書で上段に記載すること。

2 添付書類については、補助事業の実施報告に係る出来高設計書等知事が必要と認める書類

(別紙)

1 経費の配分

(1) 経費の配分及び負担区分

(単位：円)

事業区分	総事業費 (a)+(b)+(c)	補助事業に要する(した)経費 (a)+(b)又は (a)+(c)	負担区分			備考
			補助金 (a)	市町村費 (b)	その他 (c)	
合計						

2 収支予算(又は精算)

(1) 収入の部

(単位：円)

事業区分	本年度予算額 (又は本年度 精算額)	前年度予算額 (又は本年度 予算額)	比較増減		備考
			増	減	
補助金					
市町村費					
その他					
合計					

(2) 支出の部

(単位：円)

事業区分	本年度予算額 (又は本年度 精算額)	前年度予算額 (又は本年度 予算額)	比較増減		備考
			増	減	
合計					

3 事業完了予定年月日(又は完了年月日)

年 月 日

様式第2号

番 号
年 月 日

島 根 県 知 事 様

住所
事業実施主体の名称
代表者の役職および氏名 印

令和〇年度種雄牛造成強化事業超優秀雌牛導入支援対策補助金変更承認申請書

令和〇年〇月〇日付け〇第〇〇号で補助金の交付決定のあった事業について、下記のとおり変更したいので、種雄牛造成強化事業超優秀雌牛導入支援対策補助金交付要綱第4の規定に基づき申請します。

記

1 変更の理由

(注)

1 記の記載様式は、様式第1号に準ずるものとする。

この場合において、補助金の交付決定により通知された事業の内容及び経費の配分と変更後の内容及び経費の配分とを容易に比較対照できるように変更部分を二段書きとし、変更前を括弧書で上段に記載すること。ただし、当該変更の対象外となる事業については省略する。また、添付書類については、補助金交付申請書に添付したもののから変更があったものに限り添付すること。

2 補助金の額が増額する場合は、件名の「種雄牛造成強化事業超優秀雌牛導入支援対策補助金変更承認申請書」を「種雄牛造成強化事業超優秀雌牛導入支援対策補助金変更及び追加交付申請書」とし、本文中の「下記のとおり変更したいので、承認されたく申請します。」を「下記のとおり変更したいので補助金〇〇〇円を追加交付されたく申請します。」とする。

番 号
年 月 日

島 根 県 知 事 様

住所
事業実施主体の名称
代表者の役職および氏名 印

令和〇年度種雄牛造成強化事業超優秀雌牛導入支援対策補助金概算払請求書

令和〇年〇月〇日付け〇第〇〇号で補助金の交付決定のあった補助金について、下記により金〇〇〇円を概算払いによって交付されたく、種雄牛造成強化事業超優秀雌牛導入支援対策補助金交付要綱第5の規定に基づき請求します。

記

事業区分	交付決定額		〇月〇月現在 予定出来高		補助金			事業完了 予定 年月日	備考
	事業費	補助金 (A)	事業費	補助金	既受領 額 (B)	今回 請求額 (C)	残額 (A-B-C)		
	円	円	円	円 (%)	円 (%)	円 (%)	円 (%)		
	円	円	円	円 (%)	円 (%)	円 (%)	円 (%)		
	円	円	円	円 (%)	円 (%)	円 (%)	円 (%)		

※1 交付決定額には、補助金の交付決定（変更があった場合は変更承認後）の額を記入すること。

※2 (%)には、(A)を100%とする割合を記入すること。

様式第4号

番 号
年 月 日

島 根 県 知 事 様

住所
事業実施主体の名称
代表者の役職および氏名 印

令和〇年度種雄牛造成強化事業超優秀雌牛導入支援対策完了報告書

令和〇年〇月〇日付け〇第〇〇号で補助金の交付決定のあった事業について、下記のとおり完了したので、種雄牛造成強化事業超優秀雌牛導入支援対策補助金交付要綱第6の規定に基づき報告します。

記

(単位：円)

事業区分	事業主体	事業内容	施行箇所 又は 実施箇所	事業量	事業費	県補助金	着工 (着手) 年月日	完了 年月日	備考

様式第5号

番 号
年 月 日

島 根 県 知 事 様

住所
事業実施主体の名称
代表者の役職および氏名 印

令和〇年度種雄牛造成強化事業超優秀雌牛導入支援対策補助金実績報告書

令和〇年〇月〇日付け〇第〇〇号で補助金の交付決定のあった事業について、種雄牛造成強化事業超優秀雌牛導入支援対策補助金交付要綱第7の規定により、その実績を報告します。

(なお、併せて精算額〇〇〇円の交付を請求します。)

記

- 1 経費の配分 別紙のとおり
- 2 事業の概要 別記実施基準「実績報告書」のとおり